

2023年10月5日
株式会社パーソル総合研究所

従業員のエンゲージメントを見える化し、現場主導の組織変革を支援 サーベイ&ワークショップのサービス「エンゲージメントナビ」をリニューアル 人的資本経営の情報開示にも対応

株式会社パーソル総合研究所（本社：東京都港区、代表取締役社長：萱野博行）のサービス開発部は、従業員エンゲージメントの向上を目的に2019年にローンチした「エンゲージメントナビ」をリニューアルし、10月2日より新サービスの提供を開始しましたので、お知らせいたします。

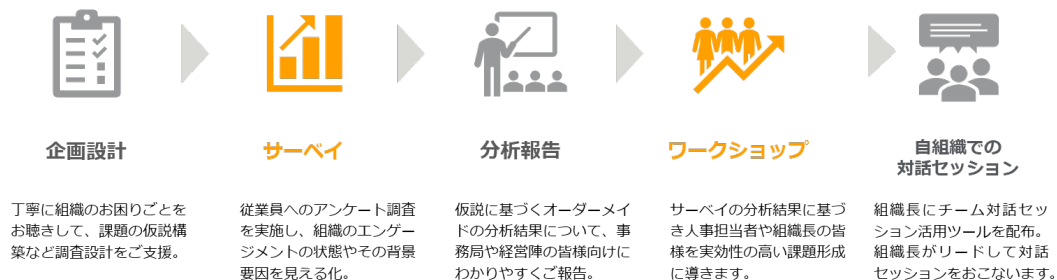
「エンゲージメントナビ」は、エンゲージメント向上の道しるべとなるサーベイと組織の課題解決を導くワークショップの総称です。今回のリニューアル版では、人的資本に関する情報開示で求められる従業員エンゲージメントの状態を、3つの要素「職務への満足」、「仕事への熱意」、「組織への愛着」で可視化します。また、サーベイによって得られた結果に基づいて問題の真因の探求や変革プランを検討するワークショップを通じて、現場主導の組織変革を支援いたします。

「エンゲージメントナビ」の詳細は以下のページをご覧ください。

URL：<https://rc.persol-group.co.jp/consulting/survey/service/engagement.html>

■リニューアルのポイント

1. エンゲージメント3要素と影響する16因子からなる高精度でアクションにつながる設問設計



パーソル総合研究所が45年以上にわたって蓄積してきたデータや人と組織に関する知見・学術研究を元に、エンゲージメントに最も影響する5つのカテゴリ（16因子）を特定。エンゲージメント3要素と因子との影響関係を把握することができます。

2. 人的資本情報開示に活用しやすい指標

ISO30414は2018年に国際標準化機構（ISO）が発表した人的資本に関する情報開示の国際的なガイドラインで、コンプライアンスやダイバーシティ、リーダーシップなど11項目・58指標を示しています。エンゲージメントナビの「エンゲージメント3要素」は、ISO30414規格のうちサーベイでしか測れない「組織文化」の把握に最適です。

3. 経営や現場の当事者を動かす、理解しやすいレポートデザイン

サーベイレポートは結果を示すとともに、人事・経営企画部門だけでなく、現場を巻き込んでエンゲージメントを向上させるアクションへつなげていくことがその重要な役割の一つです。レポートの受け取り手にとっての分かりやすさを重視し、1ページで全体像がつかめる全体サマリや直感的にデータを把握できるグラフ、データの意味の解説など、初めてレポートを手にする人でも理解しやすい構成にしています。

■リニューアルの背景

「エンゲージメントナビ」は、従業員の主体的行動の促進や勤続意向の向上、組織においては営業利益や売上の向上、ビジョンの実現などを促進することを目的に 2019 年にローンチしたサービスです。しかし、新型コロナウイルスによる労働・職場環境の変化、それに伴うキャリアや職業観の変化によって、個人と会社との関係の質にも変化が見られるようになってきています。また人的資本に関する情報開示の義務化、コーポレートガバナンスコードの改訂など企業を取り巻く制度も変わってきています。

大きな変化を背景に、現在、多くの日本企業では企業価値向上のため、職場づくりに関する取り組みが積極的に行われています。その理由は「働きやすい環境の整備による人材定着率の向上」や「個と組織の力の最大化」など、経営に直結する課題を解決するためです。そのための最初の一步として多くの企業でサーベイを活用し、職場の現状を把握するニーズが高まっています。

パーソル総合研究所では、人と組織にまつわる調査・研究をもとに、独自かつ最新のモデルを構築し、昨今の環境にあったサービスにリニューアルすることとなりました。パーソル総合研究所では、シンクタンクにおける知見・ネットワークを活かし、お客様の人事・組織課題の解決に資するソリューションを展開しています。社会の変化に伴い複雑化するお客様の課題解決に役立てるよう引き続き取り組んで参ります。

■「エンゲージメントナビ」サーベイの特徴

1. エンゲージメントサーベイ 3つのポイント

エンゲージメントナビのサーベイには3つのポイントがあります。「①高精度でアクションにつながる設問設計」「②人的資本の情報開示に活用しやすい指標」「③経営や現場の当事者を動かすレポートデザイン」です。



2. サーベイで可視化するエンゲージメント 3要素と5つの影響要因

本調査で測定するエンゲージメントとは「従業員が職務に楽しさや価値を感じつつ、会社に愛着を抱き、生き活きと仕事に打ち込むことを通じて、企業活動に積極的に参与・参画している状態」と定義しています。

・エンゲージメント 3要素



職務への満足

仕事に価値や楽しさを感じている



仕事への熱意

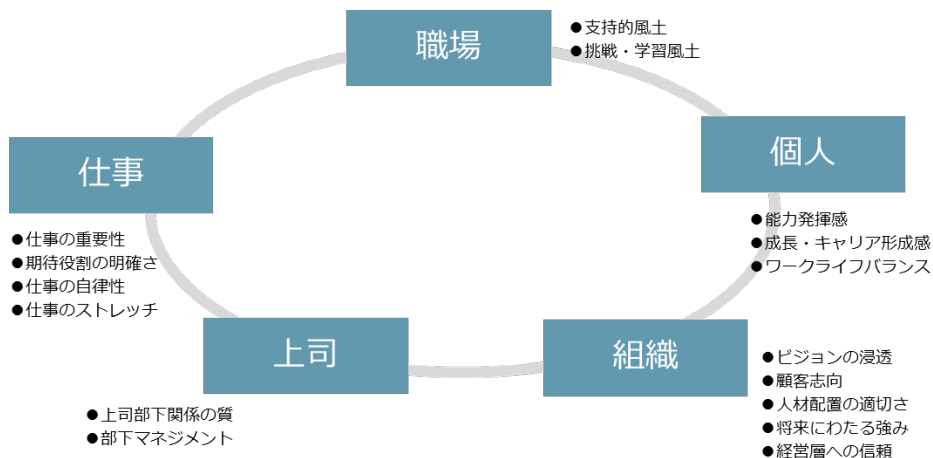
生き活きと仕事に打ち込んでいる



組織への愛着

会社に対して愛着を抱いている

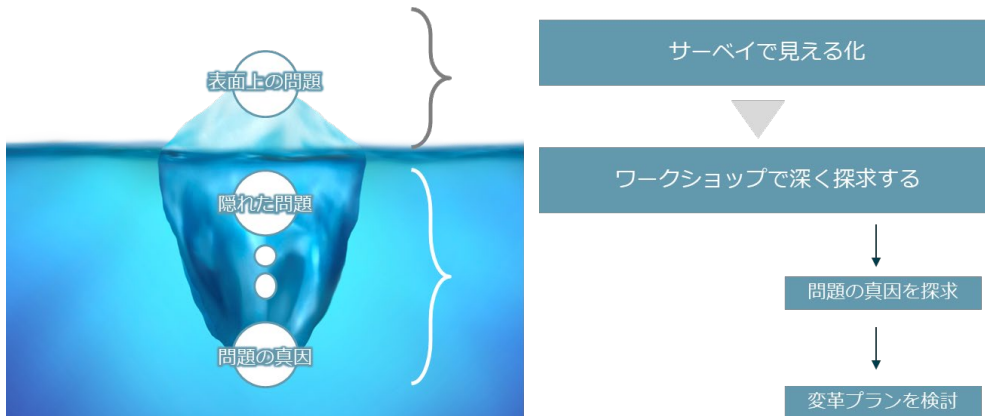
・エンゲージメントに最も影響する5つのカテゴリ（16因子）



■「エンゲージメントナビ」ワークショップの特徴

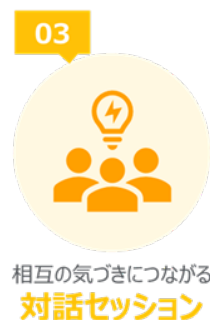
1. ワークショップで問題の真因を探求し、取り組むべき変革プランを検討する

サーベイによって組織の状態を「見える化」した後は、そこで得たデータやエビデンスに基づいて、組織の「問題」と向き合っていきます。その際には、現場の背景情報も併せてデータを解釈することが重要です。表面上の問題だけではなく、問題の下に隠れている「真因」を探求し、これからの変革プランを検討していきます。







2. ワークショップのポイント

エンゲージメントナビのワークショップには3つのポイントがあります。「①科学的なアプローチを導くファシリテーション設計」「②自組織の問題に主体的に取り組むワーク」「③相互の気づきにつながる対話セッション」です。リーダーが自組織の問題を扱い、現場の実情を踏まえて最適な変革への道筋を考えるプロセスを体感することで当事者としての意識が高まるため、取り組みの実効性が上がります。



3. ワークショップの概要とタイムスケジュール

概要		タイムスケジュール	
目的 	エンゲージメントナビサーベイの結果に基づき、自組織を「ありたい姿」に近づけるための行動の準備を整える	13:00	1. オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> 本日の目的と進め方 対話のグラウンドルール アイスブレイク
主な対象者 	組織長（レポートの組織単位）		2. サーベイ結果の見方 <ul style="list-style-type: none"> サーベイの概要 レポートの読み方 結果を見る時のポイント
標準時間 	4時間		3. 自組織の結果を読み解く <ul style="list-style-type: none"> 自組織の強みと問題 問題の真因を探る
推奨人数 	10～20名（最大24名）		4. 自組織の未来を描く <ul style="list-style-type: none"> 具体的な変革プランの立案 自組織での対話の計画
		17:00	5. まとめ・質疑応答

●「エンゲージメントナビ」の詳細は以下のページをご覧ください。

URL : <https://rc.persol-group.co.jp/consulting/survey/service/engagement.html>

■【株式会社パーソル総合研究所】<<https://rc.persol-group.co.jp/>> について

パーソル総合研究所は、パーソルグループのシンクタンク・コンサルティングファームとして、調査・研究、組織人事コンサルティング、タレントマネジメントシステム提供、人材開発・教育支援などを行っています。経営・人事の課題解決に資するよう、データに基づいた実証的な提言・ソリューションを提供し、人と組織の成長をサポートしています。

■「PERSOL（パーソル）」について <<https://www.persol-group.co.jp/>>

パーソルグループは、「“はたらくWell-being”創造カンパニー」として、2030年には「人の可能性を広げることで、100万人のより良い“はたらく機会”を創出する」ことを目指しています。

人材派遣サービス「テンプスタッフ」、転職サービス「doda」、BPOや設計・開発など、人と組織にかかわる多様な事業を展開するほか、新領域における事業の探索・創造にも取り組み、アセスメントリクルーティングプラットフォーム「ミイダス」や、スキマバイトアプリ「シェアフル」などのサービスも提供しています。

はたらく人々の多様なニーズに応え、可能性を広げることで、世界中の誰もが「はたらいて、笑おう。」を実感できる社会を創造します。

問い合わせ先

株式会社パーソル総合研究所 広報 TEL : 03-6385-6888 MAIL : prc_pr@persol.co.jp